



興 照 寺 報

平成31年3月

68号

発行 浄土真宗 興 照 寺
〒890-0045 鹿児島市武一丁目25番12号
電話 **099-254-3269** (代)FAX 099-254-0303



一頁 「チコちゃんに叱られる！」
二頁 「本堂改築・納骨堂増設計画」
三頁 「教えてお寺のこと」「花祭り」
四頁 行事案内とお願い



昭和31年、六月灯
檜やぐらを組み、舞台を作って盆踊りを披露していた。

本堂の改築工事・納骨堂の増設工事を
行うことになりました。今年の八月から
工事が始まります。
(二面に関連文)

お知らせ

『チコちゃんに叱られる!』

NHKのテレビで、五才のチコちゃんが大人
のゲストに、不思議に思っていることを問
いかける番組があります。この間「大人にな
ると一年が早く感じるの何故?」との質問
がありました。たしかに私も一年が短く感じ
るようになっており、若い時は、時が待ち遠
しく感じていたのに何故だろうと考えてしま
いました。ゲストの人が「たくさん生きてい
るから飽きちゃったんだ」と答えるとチコち
ゃんに「ポオツと生きてんじゃねえよ!」と
叱られました(笑)。チコちゃんの答えは
「大人になると人生にトキメキがなくなつて
くる」そうでそのトキメキのピークは十九
才、それから一年一年短く感じられるよう
になるそうです。そういえば私もこの頃感動が
少なくなっているような気がします。あたり
まえのように蛇口をひねると水が出る、スイ
ッチを入れると電気がつく、生きているのが
あたりまえ、そんな「あたりまえ」の生き方
が問題で、「あたりまえ」のなかに「不思議
」を見出して『ありがたい』の生き方に変
えていけば、いのちの大切さに気づき、心豊
かに一日は満たされるのではないでしょう
か。そんな「あたりまえ」の日常から「あり
がたい」を見出して今日一日を生きていきたく
いと思います

(英清記)

本堂が建設されて六十年になります。老朽化が進んできています。

そんな中、現納骨堂の空きが少なくなり、二年前から「納骨堂増築準備委員会」を設け、納骨堂増築に向けた検討を重ねてきましたが、それに伴い本堂の耐震問題に対処する必要性が出てきました。

そこで、『本堂改築』に主眼を置いた計画に改めることになり、昨年八月、新たに「本堂改築・納骨堂増設準備委員会」を立ち上げ、本堂改築と納骨堂増設を一体化した「事業計画案」の作成に取り組んでまいりました。

先般、寺の責任役員会並びに総代会で「事業計画案」が承認されましたので、門徒の皆さんにお知らせいたします。

建物自体は「三階建て」になります。今年のお盆が終わった頃から解体工事を始め、来年のお盆前に完成の予定です。

本堂に関しては、寺報第六十六号（昨年七月発行）の二面『つたえ〜つどい〜つながって』の中で、興照寺のこれからの目標と

本堂改築・納骨堂増設計画

して掲げた

① 法務活動の充実
② 憩いの場・交流の場としての機能強化（寺に親しんでいただく）

③ 地域社会の健全な発展への寄与（地域とのつながりを深める）

この三つの目標に沿った建物、そして寺としてのコ

ミュニティー機能を高める建物にしたいと考えています。

「本堂の利便性向上、寺務の効率化、法要室・多目的ホール・研修室・会食可能な休憩室・談話スペースの設置など」

納骨堂に関しては、多様性を考慮し、サイズの種類

を増やしたり、従来の御仏壇式納骨壇に加え、新たに多段式納骨壇（収容個数の少ないロッカー式）も設置する予定です。

また『合同墓』を本堂の内陣下に設ける計画です。門徒さんを対象に、継承者がいない方々の遺骨を合同墓でお預かりします。

「本堂」は、お寺の中心になる大切な建物です。多くの人がつどい、法要を行い、教えをつたえ、お念仏と報恩感謝の思いを未来につなげていく大切な場所です。

六十年ぶりの本堂改築という大きな事業を行うにあたり、門徒の皆さんにご支援（ご寄付）をお願いすることになりました。（改めて趣意書などを郵送させていただきます。）

出費多難な折、まことに申し訳ありませんが、皆さんのお力添えのもと、今回の計画がこれからの興照寺の発展、そして社会への貢献につながっていくことを願っています。

ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

（英憲記）

教えて お寺のこと！

実際に、門徒の皆様やお参り頂いた方々から頂いた素朴な質問にお答えしていくコーナーです。

問：寺務の受付時間は？

答：寺における受付時間は、午前八時半～午後五時半です。電話による受付は基本的に随時受け付けていますが、夜は、留守番電話で対応する場合もあります。

問：納骨堂の参詣時間は？

答：四月から午前八時～午後六時になります。

※八月十三日～十五日は

午前七時～午後九時です。

問：祥月命日と月命日の違い？

答：祥月命日は、亡くなられた月日ですので年に一度。

例えば、元日に亡くなれば、毎年、元日が祥月命日となります。

月命日は、亡くなられた日。

問：線香は折って寝かせるの？

答：浄土真宗では

【折って寝かせます。】

仏教の伝統的なお香の作法は焼香です。焼香する際に、指でひとつまみした抹香（葬儀や法事の際に焼香に用いるもの）は、すぐ燃え尽きて香りが去ります。そこで考え出されたのが

「燃香」という方法で、大きな香炉の灰の上に抹香を線上に並べ、端から火を点じると導火線の要領でゆっくりと燃え移り、薫香が長時間漂うことになりました。ところが、江戸時代になり



「線香」が考案されると、簡便さが重宝がられ、「燃香」に取って代わるようになりました。

お香は横に寝かせて用いるのが本来の形であることから、浄土真宗ではこの伝統を受け継ぎ、線香は立てないで寝かせるのです。（明彦記）

花祭りのご案内

・日 四月七日（日）

・時間 十一時より

・場所 興照寺本堂

・余興は駐車場で行います。

雨天時は本堂

（和順会総会も合わせて行います）

花祭り関係諸募集

■ 帰敬式参加者

《帰敬式とは法名を受ける式です。法名は本来生前に受けるものです。毎年一回、花祭りの時に行っています。費用は一万円です。》是非この機会にお受けください。



■ 余興参加者

踊り・カラオケ・詩吟・楽器演奏などの参加者を募集しています。ふるってご参加ください。



【帰敬式を受けたい方、余興参加希望の方は、三月三十一日（日）までにご連絡ください。】

写経講座 講習生募集

興照寺の新しい試みとして、昨年度から「写経講座」を開設しました。今年度も五月から始まります。

- ・日時 毎月第一木曜日 午後二時から
 - ・約一時間の予定
 - ・場所 会館三階法要室
 - ・内容 「正信偈」の解説と写経
 - ・対象者 興照寺門徒を問わず、どなたでも受けられます。希望の方は寺へ申し込みください。
 - ・定員 約十名
 - ・費用 実費
- (詳しくは寺へ問い合わせください)

春季彼岸会法要のご案内

三月	午前 十時より	午後 二時より
十八日(月)	○	○
十九日(火)	○	吹上
二十日(水)	吹上	吹上
二十一日(木)	○	○
お中日	○	○

講師 田中 昭文先生 (福岡県)

春季永代経法要のご案内

- ・期日 四月二十日 (土) 四月二十一日 (日)
 - ・時間 朝席 十時より 昼席 二時より
 - ・講師 小山 坦道先生 (福岡県)
- ※どなたでも聴聞できます。気軽にご参加ください。



門徒会費のお願い

平成三十一年度の門徒会費納入をお願いいたします。〈年額二千元〉

※納入方法

- ① 同封の振込用紙を使い、近くの郵便局から振り込む。
- ② 寺へ持参される。
- ③ 命日などで、ご自宅へお参りに伺った際に預けていただく。

※納付期限 五月末までをお願いいたします。

納骨堂管理費のお願い

管理費の納入をお願いいたします。

〈金額 年額一万円〉

同封振込用紙に門徒会費・管理費の合計の金額が記入されていますので、門徒会費の納入方法と同じ要領でお願いいたします。

お盆参りについてお願い

お盆のお参りについて、門徒会費の振込用紙を利用して皆様のご希望をお伺いいたします。(詳しくは同封別紙をお読みください。)

時間変更のお知らせ

- 寺務所受付時間 午前八時三十分から 午後五時三十分まで
- 納骨堂参詣時間 午前八時～午後六時まで (八月十三日～十五日は 午前七時～午後九時まで)

あとがき

近頃「働き方改革」が話題になっていきます。当寺でも見直しを進めています。

ゆとりを持った寺の運営ができるよう、人員を増やしたり、仕事内容を改善したり、工夫を凝らしていこうと思っております。

(英憲記)